


「日本宗教」第3回




神々の世界（神道）
 仏教以前、仏教伝来



- 異世界への入り口
- 巫女の役割 (cf. 破魔矢)
- 死者との交流
- 神仏習合





君の名は。



リーディング・アサインメント

『世界を読み解く「宗教」入門』第4章
 topic 3 「神道の特徴」
 topic 4 「神道とビジネスの関係」
 topic 5 「仏教についての基本知識」
 (202-237頁)



「神々の世界」 OVERVIEW

- 神道の起源
- 神社の多様な姿
- カミとは何か
- 神道の特徴

神道の起源

- 神話から歴史へ
- 記紀神話
 - 古事記 (*Chronicles of Ancient Times*)、712年
 - 日本書紀 (*Chronicles of Japan*)、720年
- 仏教との関係

神社の多様な姿 A Diversity of Shinto Shrines





伊勢神宮

The Grand Shrine of Ise

- 創建年不明（日本書紀に記述あり）
- 主祭神：天照大御神（Sun Goddess）、豊受大御神（Food Goddess）
- 式年遷宮
 - 神宮では原則として20年ごとに、内外両宮の社殿を造り替える。2013年がその年にあつた。







伏見稲荷大社

- 創建：和銅年間（708～715年）
- 主祭神：宇迦之御魂大神（うかのみたまのおおかみ）
- 全国約3万社の稲荷神社の総本宮
- 「きつね」は稲荷神の使いとされている。



大神 (おおみわ) 神社

- 創建年不明
- 主祭神：大物主大神（日本書紀）
- 「日本最古の神社」とされてきた。
- 三輪山を神体としており、本殿を持っていない。



明治神宮

- 創建：1920年（大正9年）
- 主祭神：明治天皇（1912年没）、昭憲皇太后（1914年没）
- 元々は森がない荒地であったが、神社設営のために大規模な植林をした。

遊就館





靖国神社（靖國神社）

- 創建：1869年（明治2年）
- 1869-1879年、東京招魂社、その後、改称。
- 主祭神：護国の英霊 246万6532柱
- 幕末および明治維新以後の国事に殉じた人々の霊を合祀する。



北野天満宮

- 創建：947年
- 主祭神：菅原道真公（845-903）
- 天神信仰の中心
 - 御霊信仰+雷神信仰=天神信仰
 - 中世以降、御霊としてではなく、学芸の神として信仰されるようになる。
 - 梅、牛との関係が深い。多数の梅の木と「臥牛」。



[参照] 今出川キャンパスの牛



[参照]今出川キャンパスの牛



カミとは何か
What is a *kami* (god/deity)?

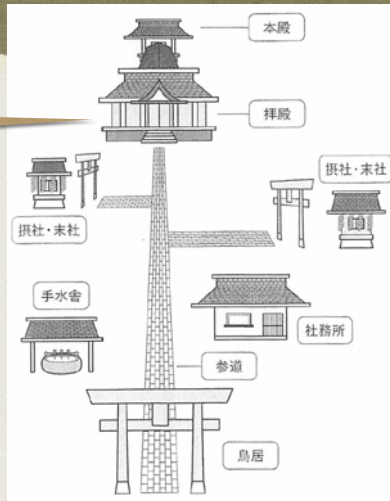
本居宣長による定義

- 「凡て迦微(カミ)とは、①古御典等(イニシエノフミドモ)に見えたる天地の諸(モロモロ)の神たちを始めて、②其を祀れる社に坐御霊(ミタマ)をも申し、③又人はさらにも云ず、④鳥獸木草のたぐひ海山など、其余何にまれ、尋常(ヨノツネ)ならずすぐれたる徳(コト)のありて、可畏(カシコ)き物を迦微とは云なり、」 (『古事記伝』三ノ巻)
- ①神典の神々、②神社の神々、③人間の神々、④自然の神々

神道の特徴
General Features of Shinto

浄と不浄の区別

二拝二拍手一拝



伝統儀礼の重視

- 新嘗祭、大嘗祭 (Harvest Festival)
 - 11月23日に、天皇が五穀の新穀を天神地祇に勧め、また、自らもこれを食して、その年の収穫を感謝する祭儀。大嘗祭は、天皇が即位の礼の後、初めて行う新嘗祭のこと。1873年から1947年の間、大祭日であったが、その後、「勤労感謝の日」となる。
- 結婚式
 - 伝統的には新郎の自宅で行われてきたが、明治以降、「神前結婚式」が広まる。

地域共同体との一体性

- 祭り
 - 新年の神社参拝 (初詣)、夏祭り (御神輿)
- 地鎮祭 (cornerstone-laying rite)
 - 土木工事を始める前に行う、その土地の神を鎮め、土地を利用させてもらうことの許しを得る儀式。



多神教として

- 多神教 (polytheism) としての神道
 - 八百万の神
 - 一神教 (monotheism) との「質的」相違
- 記紀神話の神々
 - イザナギ・イザナミ、アマテラス・ツクヨミ・スサノオ、・・・神武天皇



小林永濯、1880年代 (ボストン美術館)

仏教以前、仏教伝来

OVERVIEW

- 日本文化・宗教の始まり
- 仏教とは何か
- 仏教伝来
- 奈良仏教

日本文化・宗教の始まり

始まりの時代

- 縄文時代・弥生時代
- アニミズム
- 古墳時代
- 卑弥呼に代表されるシャーマニズム

日本文化・宗教の起源

- ポリネシア・メラネシアからの影響：「水平的な」神話、海（彼岸）と結びつく神性
- 南方からの影響：稲作を中心とする農耕儀礼（神道の起源？）
- 北方（朝鮮半島、モンゴル）からの影響：「垂直的な」神話、天と結びつく神性
- 中国・朝鮮半島からの影響：仏教、儒教、道教



仏教とは何か

仏教の開祖・釈迦

- 前5世紀頃、ルンビニ（現在のネパール）で誕生。
- 釈迦は釈迦牟尼の略。釈迦は彼の部族名もしくは国名で、牟尼は聖者・修行者の意味。「釈迦族の聖者」という意味の尊称。本名（俗名）はゴータマ・シッダールタ。
- 生涯：出家（29歳）、悟り（35歳）、初転法輪（仏・法・僧がそろった仏教の成立）、入滅（80歳、遺骨は分けられストゥーパ〔仏塔〕に）
- 【参考】五重塔などは、ストゥーパから発展したもの。仏舎利を安置。



仏教の教え

- 諸行無常、諸法無我
- 中道、縁起
- 四聖諦（The Four Noble Truths）
 - 苦諦：人生や世界には苦が満ちている（現状認識）
 - 集諦：苦の原因は煩惱（原因分析）
 - 滅諦：煩惱を減することで苦が消える（解決方法）
 - 道諦：煩惱を消す方法（八正道）がある（実施手段）

仏教教団の種類

- 部派仏教（紀元前3世紀頃）：上座部（Theravada）と大衆部
- 前1世紀頃から、大乘仏教（Mahayana Buddhism）が台頭。
- 大乘仏教は上座部を「小乗」（Hinayana）と呼んだ。

ガンダーラ美術（1-5世紀）



仏教伝来

仏教伝来

- 仏教伝来（The Coming of Buddhism, 538年または552年）
 - 百済の聖明王が、欽明天皇に金銅製の釈迦像や仏典などを贈る。
 - 仏教受容をめぐる争い
 - 物部氏・中臣氏：外国の神である仏を招くことは、日本の神祇の怒りを招く。
 - 蘇我氏：大陸文化の摂取に積極的。
 - 587年、蘇我氏が物部氏を滅ぼす。用明天皇が仏教に帰依。

聖徳太子 (厩戸皇子)

- 聖徳太子 (Prince Shotoku, 573-621)
- 用明天皇の子
- 十七条憲法 (604) Seventeen Article Constitution
- 「篤く三宝 (仏・法・僧) を敬え」 (第二条)
- 法隆寺 (607年、世界最古の木造建築)、四天王寺などを建立
- 日本最初の仏教文化 (飛鳥仏教) を生み出す。



法隆寺



柿くへば 鐘が鳴るなり 法隆寺
正岡子規





奈良時代 (710-794年)

- 律令制国家の成立：仏教は国家宗教として国民統治の役割を果たす。
- 南都六宗 (six sects of Nara Buddhism)
 - 華嚴、律、法相、三論、俱舍、成実
 - 律宗：鑑真 (688-763) によって伝えられる。
 - 法相宗：法隆寺 (1950年、聖徳宗として独立)、興福寺、薬師寺、清水寺 (1965年、北法相宗として独立)
 - 華嚴宗：東大寺、大仏 (The Great Buddha) 建立

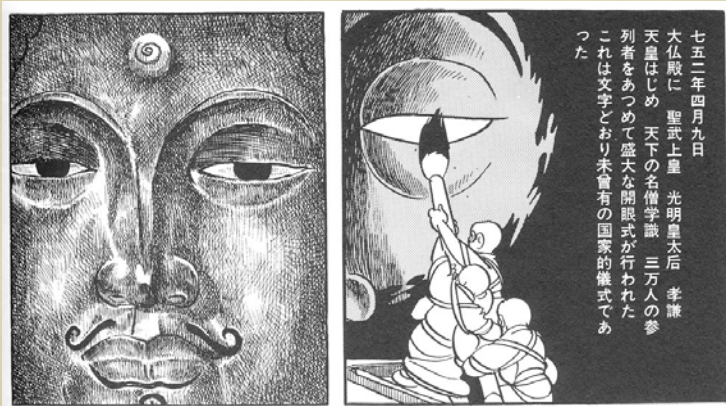
大仏建立 (749年)

- 742年、聖武天皇は全国に国分寺と国分尼寺をつくる。東大寺は総国分寺。
- 大仏は華嚴宗の本尊・盧舎那仏。
 - 盧舎那仏の原語はサンスクリットの「ヴァイローチャナ」(インド由来の仏の名)。密教における大日如来(マハー・ヴァイローチャナ)も同じ語源を持つ。

東大寺 (世界遺産)



手塚治虫『火の鳥』 4 鳳凰編



手塚治虫『火の鳥』 4 鳳凰編



手塚治虫『火の鳥』 4 鳳凰編



民衆仏教 (Popular Buddhism)

- 国家仏教の枠を越えて、民衆の間に仏教が広まる。
- 行基 (668-749)
 - 717年、行基の集団は人心を惑わすとして弾圧される。
 - 745年、朝廷は行基を最初の「大僧正」に任じる。

